

試験報告書

1、依頼者

一般社団法人抗菌防カビ清掃技術研究所

2、試験者

一般財団法人日本食品分析センター、他

3、依頼品(検体)

通気性被膜防カビ剤を浸透させた木片

4、試験方法

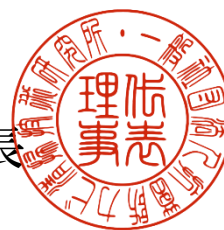
JIS Z 2911 : 2018 カビ抵抗性試験補法 6.一般工業製品の試験(計測機器・木竹製品)

依頼事項	カビ抵抗性試験(4週間の試験を計12回)合計日数336日間 独立行政法人 製品評価技術基盤機構の菌を使用
------	---

2023年9月25日で調査期間に依頼した上記試験が終了したので報告書を作成いたします。

一般社団法人

抗菌防カビ清掃技術研究所理事長



(※/注)

- 試験報告書の記載内容は試験品に対する試験報告であって、薬剤の性能・効能等を保証するものではありません。
- 検体欄及び依頼事項欄は、当研究所が試験者に依頼した内容に基づき記載したものです。
- ※1:かびの混合孢子懸濁液は1回あたり約50~100万個に相当する孢子が含まれています。
- ※2:NBRC(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) ※3:日本産業規格の基本試験期間は最大4週間です。
- 本試験報告書の改変・複製・模造・譲渡・販売は禁止です。
- 本試験報告書全部または一部を広告やその他に掲載しようとする場合は、一般社団法人抗菌防カビ清掃技術研究所の承認が必要です。

表-1 試験条件

依頼品	品名	通気性被膜防カビ剤を浸透させた木片
	大きさ	約 45mm×45mm×厚み 5 mm
試験名	JIS Z 2911 : 2018	カビ抵抗性試験
	6. 一般工業製品の試験(計測機器・木竹製品)	
試験期間	4 週間の試験を計 12 回(約 1 年間 / 336 日)	
試験方法	4 週間ごとにかびの混合孢子懸濁液※1 を試料に接種した。 温度 26 度±1、相対湿度 95~99%	
試験菌	① Aspergillus niger NBRC105649 ② Penicillium citrinum NBRS6352 ③ Rhizopus oryzae NBRS31005 ④ Cladosporium cladosporioides NBRC6348 ⑤ Chaetomium globosum NBRC6347	
生育調査	試験菌をポテトデキストロース寒天培地で確認したところ、試験開始から 7 日間で十分な生育が認められた。	

※2:NBRC(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

表-2 試験結果

依頼品名	試験期間	結果
通気性被膜防カビ剤を浸透させた木片	4 週間※3	0
	8 週間	0
	12 週間	0
	16 週間	0
	20 週間	0
	24 週間	0
	28 週間	0
	32 週間	0
	36 週間	0
	40 週間	0
	44 週間	0
48 週間	0	

表-3 カビの発育状態の判定方法

発育状態	カビ抵抗性
試料又は試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。	0
試料又は試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の 1/3 を超えない。	1
試料又は試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の 1/3 を超える	2

以上